

1 単元名 現代社会とわたしたちの生活 (全10時間)

美濃市立美濃中学校 安田 正治
各務原市立稲羽中学校 左高 英希

2 単元のねらい

我が国が高度経済成長以降、産業を発展させ、貿易を拡大させて世界との結びつきが強まったこと、国際社会における役割が大きくなっていったことなど、現代日本の発展の過程や国際社会の変容について理解できるとともに、現代社会の特色に気付くことができる。

3 単元で培いたい学び方

高度経済成長以降の社会的事象に関する様々な資料を収集し、必要な資料を適切に選択して、現代日本の発展の過程をとらえる学び方

4 内容のまとめりごとの評価規準 公民的分野の内容 (1) ア「現代社会と私たちの生活」

ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
高度経済成長以降の社会的事象に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、国際社会における我が国の役割を考えようとしている。	高度経済成長以降の社会的事象から課題を見だし、現代日本の発展の過程を踏まえ国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察し、我が国のあり方について様々な観点から公正に判断している。	高度経済成長以降の社会的事象に関する様々な資料を収集し、学習に役立つ情報を適切に選択して活用するとともに、課題を追究し考察した過程や結果を図表化したり報告書にまとめたり、発表や討論などを行ったりしている。	社会の変容や特色をとらえるために比較という方法があることを理解し、現代日本の発展の過程、国際化の進展のあらましについて理解するとともに、現代社会の特色に気付く、その知識を身に付けている。

5 単元の評価規準

	ア 社会的事象への関心・意欲・態度	イ 社会的な思考・判断	ウ 資料活用の技能・表現	エ 社会的事象についての知識・理解
単元の評価規準	高度経済成長から今日までの我が国や国際社会の諸事象に対する関心が高まっている。 「国民生活の向上」「日本と世界の結びつきの変化」「国際社会における日本の役割の変化」の三つの観点を踏まえて具体的な課題を設け意欲的に追究している。 高度経済成長以降の国際社会における我が国の役割の変化について具体的に考えようとしている。	高度経済成長から今日までの我が国や国際社会の諸事象から「国民生活の向上」「日本と世界の結びつきの変化」「国際社会における日本の役割の変化」の三つの観点を踏まえた課題を見だしている。 国際社会における我が国の役割について、国際平和や国際協力などの事例を取り上げ、多面的・多角的に考察している。	高度経済成長から今日までの我が国や国際社会の諸事象に関する資料を様々な情報手段を活用して収集している。 収集した資料の中から、学習に役立つ情報を適切に選択し活用している。 課題を追究し考察した過程や結果を図表化したり報告書にまとめたり、発表や討論会などを行ったりしている。 調査の方法やまとめ方、発表の仕方を身に付けている。	高度経済成長から今日までの我が国の変容について、国民生活の変化や世界との結びつきの変化に着目して理解し、その知識を身に付けている。
学習活動における具体的評価規準	高度経済成長以降の社会の様々な変化について関心をもち、追究しようとしている 【第1時 ノートの記述】 調査や作業活動を通して、課題を意欲的に追究している。 【第3・4時 ノートの記述】 自分が追究したことを意欲的に発表し、仲間の発表から積極的に学ぼうとしている。 【第7・8・9時 ノートの記述】	高度経済成長以降の社会の様々な変化から、「国民生活の向上」「日本と世界の結びつきの変化」「国際社会における日本の役割の変化」の観点を踏まえて課題を見だしている。 【第2時 発言内容】 仲間の発表を聞いて、発表のテーマに沿った質問や自分の考えを発言している。 【第7・8・9時 発言内容】	テーマを追究するために、複数の資料から情報を得ている。 【第3・4時 ノートの記述】 集めた情報を選び、わかりやすい資料にしている。 【第5・6時 発表資料】	単元の学習のまとめとして、次のことが文章の中で表現されている。 ・高度経済成長以降の産業や社会の発展 ・我が国は、政治的にも経済的にも国際社会で大きな役割を担うようになってきたこと ・貿易を拡大させて世界との結びつきが強くなったこと 【第10時 ノートの記述】

6 単元指導計画

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
1 現代社会を探る	高度経済成長から今日までの日本や世界の変容を、年表資料を使って読み取ることを通して、現在の私たちの生活・社会を見つめなおしてみようとする意欲を持つことができる。	<p>1 年表に2000年代のできごとを書き込み、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内で狂牛病の牛発見、アメリカ同時多発テロ、携帯テレビ電話発売(01)、学校週5日制スタート(02) <p>2 これらのできごとが、高度経済成長以降の40年間のどのようなできごとと関連して生まれてきたことか考え、交流し、単元を貫く課題を設定する。</p> <p>《単元を貫く課題》</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現在の私たちの生活・社会を見つめなおしてみよう</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度経済成長以降の様々な変化の中から、関心をもったことをワークシートに書き出す。 	<p>アー</p> <p>高度経済成長以後の社会の様々な変化について関心をもち、追究しようとしている。</p> <p>場面 「授業後」</p> <p>方法 「ノートの記述」</p> <p>高度経済成長期と現代を比較した記述を分析する。</p>	<p>「現代社会の歩み」 教科書P6・7</p> <p>援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の自分たちの生活に大きな影響を与えていると思う出来事や変化を中心に書き出すよう助言する。
		<p>最近私たちの周りで起こる様々な出来事や、新しい動き、新しく生まれる問題、周りにある様々な物は、主に、高度経済成長以後の社会の発展と変化の流れの中から生まれてきたことが大まかに分かった。私たちがどのような社会に生きているのか、今後どうあるべきかを、きちんと調べて考えてみたい。</p>		
2 テーマを決めよう	単元の課題に迫るための、班の追究テーマを話し合うことを通して、課題追究の手順や発表の仕方を考えることができる。	<p>1 単元の学習の進め方についてガイダンスを聞き、学習の流れを理解し本時の学習課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">班ごとに追究するテーマを決めよう</p> <p><追究するテーマの例></p> <p>コンビニの発展、私たちの生活はどのように変わったか、私たちの毎日の食卓、世界とどうつながっているのだろうか</p> <p>外国人登録者数の増加、日本にやってくる理由は何だろうか</p> <p>2 追究する手順、調査の仕方、発表の方法の基本を学び、班で話し合い追究の準備を進める。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;"><追究する手順> 具体的な調査項目(視点を立てる 仮説を立てる 検証方法を考える 役割を分担する <発表の仕方> 発表の手順を知る 発表の方法を検討する(寸劇風、街頭インタビュー風、パワーポイント、黒板に資料を提示しながら、報告書にまとめて配布、など)</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>調査に必要で、次の時間までに各自持ち寄ると良いと思われるものを確認する。</p>	<p>イー</p> <p>高度経済成長以後の社会の様々な変化から、三つの観点をふまえた課題を見いだしている。</p> <p>場面 「授業後」</p> <p>方法 「ノートの記述」</p> <p>「国民生活の向上」「日本と世界の結びつきの変化」「国際社会における日本の役割の変化」の三つの観点のいずれかを踏まえて課題を生み出しているか分析する。</p>	<p>援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを選択する際には「国民生活の向上」「日本と世界の結びつきの変化」「国際社会における日本の役割の変化」の三つの観点のいずれかを踏まえることを指導する。 ・班の編成については、学校の実態による。 ・各自が書いた関心事項に朱筆を入れるなどしてその子の考えを認め助言をする。
		<p>自分たちが考えたテーマを追究することによって、現在の私たちの生活・社会を見つめなおすることができるだろう。追究する手順も班の仲間と考えられたので良く分かった。次の時間から、自分の分担の情報をしっかり集めよう。</p>		
3 テーマに沿って調べよう (2時間)	テーマを追究するための調査の視点や方法を知り、自分の分担に関して複数の情報源から調べることができる。	<p>1 調査の進め方について教師の諸注意を聞き、本時の学習課題を設定する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">視点をしっかり持って調査をしよう</p> <p>2 調べる視点と分担、学習する場所を確認し、調査を開始する。</p> <p>コンビニの登場した年、全国・地域の件数。【インターネットなど】地域のお店調査=コンビニの影響【聞き取り調査】家族の1週間の利用回数、など。</p> <p>班員の昨夜の献立。材料(食材)の入手先調査。【聞き取り調査】輸入食材の種類と量、10年の推移。【インターネットや統計資料】</p> <p>10年の外国人登録者の推移。都道府県別登録者数。国別登録者。目的別登録者。外国人の働き先と賃金。【インターネット・市役所・統計資料など】</p> <p>3 本時のまとめをする。</p> <p>どこまで調査が進んだか、次の時間に行うことなどを確認する。</p>	<p>アー</p> <p>調査や作業活動を通して、課題を意欲的に追究している。</p> <p>場面 「授業後」</p> <p>方法 「ノートの記述」</p> <p>ウー</p> <p>テーマを追究するために複数の資料から情報を得ている。</p> <p>場面 「授業後」</p> <p>方法 「ノートの記述」</p> <p>複数の資料から調査をしているか分析する。</p>	<p>援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を集める際には、常に自分たちの班のテーマを意識させ、必要な情報がどうか判断させる。 ・調査の視点(「事実を見つけること」「移り変わりを見つけること」「どうして変わったのか調べる」)を確認しながら進めるよう助言する。
		<p>テーマに迫るための視点をいくつか持って調べることができた。調べる手段も、インターネット・聞き取り調査・統計資料・新聞や書籍など、複数の資料から集めることができた。</p>		

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
4 発表準備をしよう (2時間)	各自が集めた情報を分析し、班のテーマを明らかにする情報を取捨選択できるとともに、分かりやすい発表をするための資料作りができる。	1 発表準備の進め方について教師の説明を聞き、本時の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>情報を取捨選択して発表の準備をしよう</p> </div>	ウー 集めた情報を選び、分かりやすい資料にしている。 場面 「学習活動2～授業後」 方法 作業の観察から作られた作品の分析	援助 ・集めた情報を、発表の資料に著す際、丸写しにならないで、自分の言葉で書くように指導する。 ・調査活動の個々のプリントに目を通し、利用方法やまとめ方などを朱筆で助言する。
		2 各自が調査して集めた情報をもとに、発表の準備をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>1. 自分達が調べたことを交流する。 視点：班の課題に迫ることができているのかを確認しながら交流する。 2. その中から発表に必要な資料を選び、発表方法を考える 視点：発表をするときに、クラスの仲間にわかりやすく課題について伝えることができる資料と発表方法を話し合う。 3. 発表の準備をする。 視点：自分たちの発表方法の準備を行い、準備完了後リハーサルを行う。</p> </div>		
集めた資料の中から、発表のために必要な資料を選択できた。また、資料は分析や意味調べなどを行い、自分の言葉で説明できるようにした。歴史の流れを発表するだけでなく、これからの日本のあり方について、班として発表できるだろう。				
5 発表し意見交流をしよう (3時間)	自分の分担の箇所を分かりやすく発表できるとともに、仲間の発表を聞いて、それに対する質問や自分の考えを持つことができる。	1 発表会の進め方について教師の説明を聞き、本時の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>発表を聞いて、質問や自分の考えを述べよう</p> </div>	アー 自分が追究したことを意欲的に発表し、仲間の発表から積極的に学ぼうとしている。 場面 「学習活動2の最中」 方法 「発表や聞く姿勢」 イー 仲間の発表を聞いて、発表のテーマに沿った質問や自分の考えを書いている。 場面 「授業後」 方法 「ノートの記述」	援助 ・班が発表した内容の中で「生活・社会を見つめなおす」部分について、各自の意見をワークシートに書くことと、発表しあって内容を深めることを指導する。 ・書けない生徒には、自分の調査と比較して、初めて知ったことや驚いたことを書くよう助言する。
		2 発表 質疑応答 各自の意見を書く 意見交流 という流れで発表会を進める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p><発表の手順> テーマを示す テーマを選んだ理由を説明する 仮説を述べる 検証方法を説明する 検証結果を述べる 自分たちの意見(生活・社会を見つめなおして分かったこと、今後の課題と思われることなど)を述べる</p> </div>		
3 本時のまとめをする ・発表の中でいい姿を紹介する。 ・質問や各自の意見の中で大切にしたいことやいい意見を取り上げ紹介する。				
「国民生活の向上」「日本と世界の結びつきの変化」「国際社会における日本の役割の変化」の観点を踏まえた各班の発表を聞くことによって現在の社会が見えてきた。課題も明らかになってきた。仲間の意見を参考にしながら、自分の考えをまとめてみたい。				
6 まとめをしよう	自分が調査したテーマに沿って、現在の私たちの生活・社会を見つめなおし、課題を明らかにし、よりよい社会を作るための自分なりの提言を書くことができる。	1 単元のまとめとして本時にやることの説明を聞き、学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>現在の私たちの生活・社会を見つめなおして、自分の考えをまとめよう</p> </div>	エー 単元の学習のまとめとして、「国民生活の向上」「日本と世界の結びつきの変化」「国際社会における日本の役割の変化」が文章の中で表現されている。 場面 「授業後」 方法 「ノートの記述」	援助 ・自分が調べたテーマを中心にまとめ、考えを書くことになるが、その際に、仲間の発言も参考にしながら、多面的・多角的に書けるように指導する。 ・前時のプリントの感想を見直すように助言する。
		2 自分たちが調査してきたテーマに沿って考えを書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 調査して明らかになったこと ・ よりよい生活・社会を目指した提言 		
3 単元のまとめをする この単元の学習の意義を再確認するとともに、これまでの取り組み全体を通して高まってきた姿を紹介する。				
現在、私たちは様々な便利な物で囲まれている。日本と世界との結びつきも様々なところで深く強くなっているし、日本の役割も大きくなってきている。しかし一方で、便利さの追求や外国への依存を強めた結果、これまでに考えられなかった出来事や事件に直面することになった。その中でも特に、人間関係の希薄さから起こる問題、食料の安全性の問題、環境破壊の問題は、私たちが常に注目し、改善の方向を探っていかなくてはならない問題と思った。				